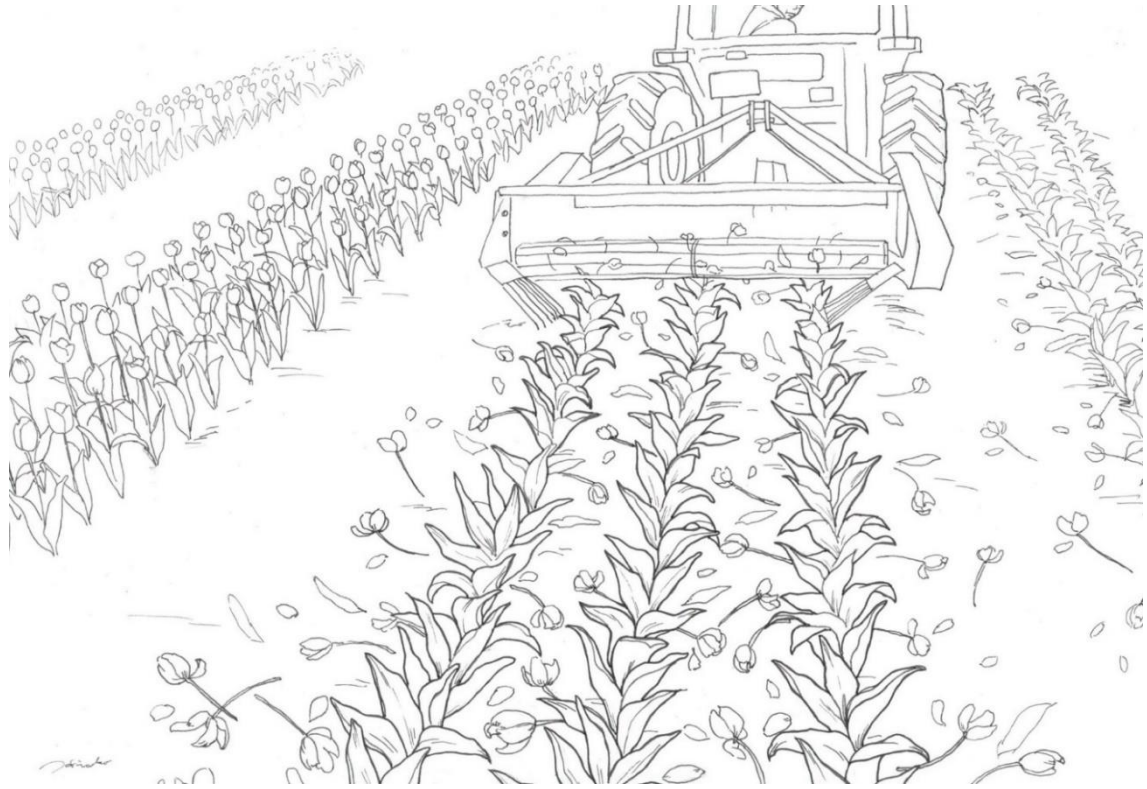


チューリップの花が…



(Drawn by Hinako FIJIMURA)

日本にだれでも知っている歌があります。「チューリップの花」という歌です。

さいた さいた チューリップの花が
ならんだ ならんだ あかしろ きいろ
どのはな みても きれいだな

この歌は、昭和5年（1930年）に近藤宮子さんという女性が作りました。昭

和5年は、日本が第二次世界大戦に向かう、不安なときでした。「どのはな みても きれいだな」には、「どんなことにも、どんな人にも、良いところがある」という思いが込められているそうです。

しかし戦争が始まると、チューリップは「ぜいたく品」と考えられるようになりました。「花なんか育てていて、戦争に勝てるのか！」と、チューリップを育てている人たちは警察にどなられました。そして、チューリップが育てられなくなりました。しかし、チューリップを育てている人たちは戦争が終わるまでチューリップの球根を大事に隠し持っていました。

チューリップはオランダが有名です。ところが、オランダも戦争でナチス軍に攻撃されて、国が大変なことになりました。王様や女王様たちもカナダへ逃げました。戦争の後、美しかったチューリップ畑もめちゃくちゃになり、女王様は、もうきれいな花は咲かないのではないかと悲しくなりました。

しかし、球根は生きていました。球根は、戦争中、食べものがなかったときに、人々の食べものとしても役に立っていたのです。そこで、オランダは、戦争の後、平和と助け合いのシンボルとして、チューリップを国の花にしました。そして、たくさんの国にチューリップの球根を送りました。日本もその国の一つです。

2020年4月、千葉県佐倉市で、チューリップ80万本全てが切り取られるという出来事がありました。佐倉市は、江戸時代からオランダとの交流が深く、姉妹都市にもなっています。そのため、チューリップ畑が有名で、毎年チューリップの季節になると、たくさんの人が見に来ます。

でも 2020 年の春は、世界中で新型コロナウイルス感染症が流行しました。たくさんの方がチューリップを見に来て、コロナウイルスがうつたらいけないので、佐倉市は、チューリップの花を全て切ってしまったのです。その週末にチューリップは一番きれいに咲くはずでした。

愛と平和の花、チューリップ。その花言葉は、「思いやり」です。チューリップの花が美しく咲く世の中でありますように。

(949 字)

(2020.5 Written by Yukiko OKUNO)

<参考資料>

- ・ 2020 年 4 月 19 日付朝日新聞 『『咲かせておくの危険』 苦渋の判断…密集避けるためチューリップ 80 万本を刈り取った。』
- ・ 2020 年 4 月 26 日付朝日新聞 「21 世紀の『チューリップの悲劇』」



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.